

つくば市指定管理者実績評価表

所管課	こども部こども育成課
評価対象期間	令和5年(2023年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで

1 施設の概要

施設概要	名称	つくば市立大曽根児童館及びつくば市立大曽根児童館放課後児童室			
	所在地	茨城県つくば市大曽根447-3			
	関係条例等	児童福祉法、つくば市立児童館及びつくば市立放課後児童室条例、つくば市立児童館及び放課後児童室条例施行規則、つくば市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例			
	設置目的	つくば市の児童の適切な遊び及び生活の場を与え、その健康を増進することとともに情緒を豊かにし、児童の健全な育成を図る。児童と地域の高齢者との世代交流、地域交流等の子育て支援の拠点施設を目指す。			
指定管理者	名称	特定非営利活動法人 茨城YMCA			
	所在地	つくば市東新井24番地7			
指定管理業務の内容		1 施設の運営に関して行わなければならない業務(指定管理業務) ① 児童の遊びの指導を行う事業 ② 母親クラブ、子供会その他の児童の健全な育成に関する活動を行う地域組織を育成し、支援する事業 ③ 放課後児童健全育成事業(利用料の徴収等含む) ④ 児童と高齢者等との多世代交流事業 ⑤ 父母その他の保護者の子育てを支援する事業 ⑥ 地域交流事業 ⑦ 施設(筑穂館含む)利用許可等に関する業務 ⑧ 児童館施設及び物品の維持管理に関する業務 2 施設の維持管理に関して行わなければならない業務(指定管理業務) ① 建築物保守管理業務 ② 設備管理業務 ③ 清掃業務 ④ 保安警備業務			
指定期間		令和5年(2023年)4月1日から令和10年(2028年)3月31日まで(5年間)			
総合評価(年度評価)		令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)

管理運営実績データ

施設名

施設名	目標・計画等	実績	原因・指示・勧告等
利用者数 稼働率等	基本的な感染拡大防止策を講じた上での事業実施、積極的な広報活動により、利用者数の増加を図る。 令和4年度実績 延べ利用者数: 24,278人 【内訳】 幼 児: 980人 小学生: 20,950人 中学生: 28人 大 人: 2,320人	開館日数: 255日 延べ利用者数: 25,692人 (R4比 +1,414人) 【内訳(前年度比)】 幼 児: 1,010人(+30人) 小学生: 22,563人(+1,613人) (児童クラブ利用者含む) 中学生: 17人(▲11人) 大 人: 2,102人(▲218人) 地域団体の児童館・筑穂館利用回数: 158回(▲36回)	【広報活動】 ・ホームページを活用した活動写真(フォトニュース)の掲載 ・「なかよしかんだより」の発行 ・なかよしかんまつり(児童館まつり)への地域住民招待 ・児童クラブ会員以外の利用方法周知(長期休暇期間等) 全体的な利用者数は増加しているものの、大人の利用者減がみられている。筑穂館の利用率向上のために、上記以外の広報活動や周知を行うよう指示した。
自主事業 (講座・セミナー等)	○多世代交流(年14回) 七夕まつり、クリスマス祝会、ひなまつり等 ○乳幼児親子イベント(年29回) 親子運動遊び、親子工作、親子食育教室等 ○小学生対象(年112回) なかよしかんまつり(児童館まつり)、竹馬・一輪車検定、お泊り会、遊びの広場等	実施回数: 283回(+13回) 参加者数: 9,211人(▲188人) ○多世代交流 実施回数: 13回 参加人数: 540人 ○乳幼児親子イベント 実施回数: 27回 参加人数: 196人 ○小学生対象 実施回数: 243回 参加人数: 8,475人	新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことで、食育プログラムを再開し、事業内容の充足を図った。 また、なかよしかんまつり(児童館まつり)開催にあたり、地域住民を招待したり、軽食の屋台を設置したりしたことで、世代を超えた交流の場となった。 新型コロナウイルス感染症拡大以前に実施していた活動の再開等、積極的な事業実施や世代間交流に努めるよう指示した。
アンケートの実施状況 (利用者の満足度、苦情等)	施設利用者の大半は同じ利用者(リピーター)であるため、年2回集中的に利用者アンケート(自由記述有)を実施する。 利用者のニーズや不満点を聴取し、サービス向上に役立てる。	【実施方法】 紙のアンケート用紙を利用者に直接手渡しで記入依頼し、BOXにて回収 【対象者】 児童クラブ員の保護者、それ以外の利用者 【実施期間】 令和5年9月11日～10月18日 令和6年2月20日～3月18日 【回答内容】 回答数合計: 132 ○施設の管理状況について 満足: 89.4%、普通: 7.6%、不満: 3.0% ○利用しやすさについて 満足: 90.9%、普通: 8.3%、不満: 0.8% ○職員の対応について 満足: 93.2%、普通: 6.1%、不満: 0.8%	施設利用者アンケートでは、全項目で80%以上の方から「満足」との結果を得られており、利用者満足度の高い運営をしている。 水準の維持に努めながら更なるサービス向上に努めるよう指示した。
収支状況	予算 ○収入計: 35,918,500円 指定管理料: 30,600,000円 クラブ利用料: 4,460,000円 自主事業: 622,500円 カラオケ使用料、その他: 236,000円 ○支出計: 35,918,500円 人件費: 18,960,000円 管理運営費: 15,156,000円 自主事業費: 530,000円 研修費: 70,000円 予備費: 1,202,500円	決算 ○収入計: 36,240,000円 指定管理料: 30,600,000円 クラブ利用料: 4,896,000円 自主事業: 576,700円 カラオケ使用料、その他: 167,300円 ○支出計: 36,240,000円 人件費: 14,971,460円 管理運営費: 20,936,459円 自主事業費: 331,081円 研修費: 1,000円 予備費: 0円 ○収支差引額: 0円	適正に資金運用ができていることを確認した。 節電やペーパーレス等の取組により、管理運営費の縮小に努めた。 引き続き日々の収支状況を把握し、適正な管理運営に努めるよう指示した。

2 評価結果

評 価 項 目		
(1) 管理状況		評 点
項目	視 点	
①適切な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。(清掃、警備、保守点検、環境配慮等)	3
②適切な職員配置	職員配置は適切か。(有資格者等の配置)	2
③職員研修・人材育成	職員教育、育成は適切に行われたか。(就業規則、接遇等研修、法令、情報管理等)	2
④職員の労働環境	労働条件や労働環境は適正か。	2
⑤個人情報の取り扱い	個人情報保護及び情報公開は適切に行われたか。	2
⑥安全対策・事故防止対策	来館者の安全対策、事故防止策は適切であったか。	2
⑦危機管理体制	防犯及び防災、その他事故等緊急時の体制、対応は十分であったか。	2
【評価の理由】 ①毎日の清掃及び保守点検を適切に行うことで、利用者の安全を確保した。加えて、施設の状況を主管課と共有することで腐食樹木の伐採や雨漏り対応をし、事故防止につなげた。		
(2) 運営状況		評 点
項目	視 点	
①平等利用の確保	平等・公平な利用に配慮されていたか。	2
②指定事業の実施	仕様書に指定された事業が計画通り実施されたか。	3
③自主事業の実施	事業者の創意工夫によるサービスの向上や利用促進策が予定通り図られたか。	3
④利用者意見の反映	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組がなされているか。	2
⑤意見・苦情等への対応	利用者からの苦情やトラブルに対し、適切に対応したか。	2
⑥利用者満足度	利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られているか。	3
⑦利用実績	利用者数・利用料金収入を増加する又は確保するための取組がなされているか。(導入前との比較、導入後の推移等)	2
⑧地域との関わり	市民のニーズを反映した取組がなされたか。 地域の住民や団体との連携が図られているか。 地元住民や地元業者の活用等、地域活性化に貢献しているか。	3
【評価の理由】 ②放課後児童健全育成事業について、創作活動や独自の検定等月平均14回のイベントを実施し、児童の健全育成を図った。また、市内の児童館対抗ドッジボール大会に参加し、他児童館を利用する児童との交流の機会を創出するとともに、事前練習による体力増強や壮行会の実施による自主性及び協調性を養うことに寄与した結果、高学年児童を中心とした自主的な活動につながった。 ③新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため自粛していた食育プログラムを再開し、事業内容を一層充足することができた。また、地域住民への広報活動を強化することで、児童館まつりにおける来場者数増につなげた。 ⑥職員の対応に関する満足度が93.2%という高い評価を得ている。アンケートの自由記述欄においても、事業内容や職員対応に関する好意的な意見が多く寄せられている。 ⑧シルバー団体、みらい子育てネット大曽根クラブ(母親クラブ)等との関わりを継続しながら、大穂中学校の生徒をインターンシップとして受け入れたり、筑波大学のサークル等との交流機会(児童館まつりへの参加誘致)を設けたりなど、地域の協働に継続的かつ積極的に取り組み、多世代交流を図った。さらに、大曽根小学校との連携及び情報交換体制を強化し、学校体育館を使用しての活動(ドッジボール大会練習)実施につなげた。		

2 評価結果

評価項目		
(3) 収支状況		評価項目
	項目	視点
	①管理運営経費の節減	管理経費を縮減するため、効果的・効率的な執行がなされたか。
	②事業収支	収支計画は、計画どおり達成されたか。
【評価の理由】		

【総合評価】

合計評価点	39	評価ランク	A
-------	----	-------	---

【総評】 ※評価を踏まえ、翌年度の指導方針や、指定管理者制度の導入目的が達成されているかを記載する。

令和5年度は指定管理更新後初年度の運営となったが、既存の事業実施や関係者との関わりに留まらず、広報活動や利用者増加に向けた新たな取組を実施するというように、職員全体が高い意識をもって施設運営業務を遂行した。その結果として、利用者アンケートで高い評価を受けている点について評価する。

令和6年度は、利用者満足度の高い水準を維持しつつ、さらなるサービス向上に努めるよう指導していくとともに、新型コロナウイルス感染症拡大以前に実施していた活動再開等、積極的な事業実施に期待したい。

※添付書類

事業報告書(月別施設別利用者数一覧、月別施設別稼働率一覧、自主事業実績、利用者満足度調査(アンケート調査等)結果、苦情一覧、収支報告書等)、モニタリングチェックシート、労働環境確認シート

【評価の基準】

- 4: 目標や計画を大幅に上回るすばらしい成果があがったもの
- 3: 目標や計画を上回る成果があったもの
- 2: 目標や計画どおりの成果があったもの
- 1: 工夫や改善は認められるが、結果的に目標や計画を下回っており、さらなる努力が必要なものの
- 0: 目標や計画を下回っており、(所管部署の指導にもかかわらず、)工夫、改善が足りないもの

※ ただし、採点に当たっては、目標設定の度合いを考慮して行うことができる。

【総合評価の基準】

- S: 総合的に評価した結果、特に優れていると認められる
(0点の項目が無く、合計点が49点以上)
- A: 総合的に評価した結果、優れていると認められる
(0点の項目が無く、合計点が39～48点)
- B: 総合的に評価した結果、適正に運営されていると認められる
(0点の項目が無く、合計点が30～38点)
- C: 総合的に評価した結果、さらなる努力が必要であると認められる
(合計点が18～29点、ただし、合計点が29点以上であっても0点の項目がある場合)
- D: 総合的に評価した結果、改善すべき点があると認められる
(合計点が17点以下)

【採点表へ反映させる加減点】

上記総合評価の基準により、下表の加減点を採点表へ反映させる。

- S: 5点加点
- A: 3点加点
- B: 0点
- C: 3点減点
- D: 5点減点

※更新年度評価での加減点とし、年度評価及び最終評価では考慮しない。